

## アフリカの未来：今日の世界的な経済問題への取り組み

クリスティーヌ・ラガルド  
国際通貨基金専務理事

政府関係者との円卓会議

2011年12月20日 ナイジェリア、ラゴス エコホテルにて

おはようございます。本日、皆様と共にここにおりますことを光栄に思います。この会議を企画して下さったナイジェリア政府、そしてこの会議に参加して下さった皆様に御礼申し上げます。

また、経済担当調整大臣兼財務大臣ンゴジ・オコンジョ＝イウエアラ氏及びナイジェリア中央銀行総裁サヌシ・ラミド＝サヌシ氏にも感謝いたします。お二人共、ナイジェリアの経済改革の達成に尽力しておられます。

今回の訪問は、国際通貨基金（IMF）専務理事として私の初のナイジェリアへの公式訪問であり、初のアフリカ訪問です。この地域で協議を開始し、また強力なパートナーシップを目指すにあたり、これ以上適した場所はないと思っています。

ンゴジ氏は次のように述べています。

*これは機会を秘めたアフリカである・・・人々が自らの将来を引き受けるアフリカである・・・協力関係を求めているアフリカである・・・*

豊富な資源、人々の富、極めて大きな可能性を有しているナイジェリアは、ここに挙げた機会の精神及びアフリカのリーダーシップを具現しています。

しかし、現在はグローバル経済にとって厳しい時期です。リスクの暗雲が立ち込めており、ナイジェリア及びアフリカの他の国々はこうしたリスクを慎重に見極める必要があります。

したがって、本日は次に挙げる4つの事項について述べます。

- 第一に、世界経済の動向及び経済危機の渦中にある国々が必要とする政策について。
- 第二に、ナイジェリア及びアフリカ地域の増大するリスクについて。

- 第三に、これらのリスクを防ぎ、ナイジェリア国民全員に対して成長の共有を推進するために、ナイジェリアの改革検討課題を遂行する重要性について。
- 第四に、こうした問題に直面しているナイジェリア及びアフリカを IMF がどのように支援することが可能であるかについて。

## 1. 世界的な見通し及び政策

私がこれまで繰り返し述べてきたように、世界経済は危険な局面にあります。IMFの最新の見通しでは、今年と来年の世界経済の成長率は依然として4%とみていました。ただし、今日成長の見通しはさらに不透明で、さらに悪化し、重大なダウンサイドリスクが存在します。

この問題の中心となっているのは、集団的な信認危機です。

実体経済と金融セクターにおける情勢の悪化が互いに影響し合い、足を引っ張っています。さらに、ヨーロッパで見られるように、政府及び銀行において市場に対する信認が損なわれています。

各国政府は調整に務めており、一部の国ではIMFプログラムの支援を受けていますが、市場の信認を回復するには説得力に欠けるきらいがあります。これ以外にも、余りにも多くの国々で失業率が容認し難いほど高水準に留まっています。

これは、今後の政策方針にとってどのような意味を成すのでしょうか？

先進国、特にユーロ圏の国々は危機の渦中にあります。そして、これらの国々は何らかの解決策の中心とならなければなりません。

ここ数か月間、ユーロ圏の首脳は解決策の柱の概要を発表し始めました。しかし、現在必要とされているのは実践です。

また、政策は大局に重点を置く必要性、すなわち安定と成長、持続する成長を回復する必要があります。

先進国は、成長と安定を促進するために、財政政策と金融政策の均衡を適切にとることが必要です。これは、競争力強化、景気の浮揚及び雇用促進に真正面から取り組む構造政策を推し進めること、そして、成長をより良く支援することが可能な、より安全で安定した金融セクターを確保するために、金融セクターの規制を強化することを意味します。

こうした問題は別世界のことのようにはみえますが、何も行動を起こさないと世界経済は信認崩壊、成長鈍化、雇用縮小という下方スパイラルに陥る可能性があります。

そして、今日の相互に関連した世界経済において、こうしたリスクに影響されない国や地域は存在しません。

## 2. ナイジェリア及びアフリカ地域に対する影響

一番目の問題は、二番目の問題を提起します。すなわち、こうした拡大する世界的なリスクはアフリカ及びナイジェリアにどのような影響を及ぼす可能性があるか？という問題です。

まず、過去 10 年間にわたるサブサハラ・アフリカ地域及びナイジェリアにおける進歩を認めたいと思います。当然ながら、依然として問題は残っていますが、我々の議論の出発点はシフトしました、それも良い方にです。

優れた経済政策により、高成長率、投資の増大、貧困の減少の基盤が形成されました。過去 10 年間にアフリカ地域全体の成長率は平均 56%以上に達しています。ただし、国によりばらつきがあり、このばらつきは顕著です。また、貧困率は 2005 年までの 10 年間に約 60%から 50%を少し上回る程度に低下しました。

ただし、これは危機による打撃を受けなかったということではありません。2008 年に食糧危機と燃料危機が発生した後に世界的な金融危機が続き、貧困を削減する取り組みに打撃を与えました。

しかし、危機に見舞われた時、政治家は適切に対処しました。大半の国では、保健、教育、インフラに対する重要な歳出を維持することができました。そして、アフリカの国々は急速に回復し、現在成長率は 2000 年代半ばの水準まで戻っています。

これは、アフリカ地域全体の政治家及び人々の懸命な努力と取り組みの賜物です。危機が生じる前に、財政赤字と公的債務を削減し、インフレ率を押し下げ、外貨準備高を高めました。手短かに言えば、経済を本質的により強固にしました。

ナイジェリアも例外ではありません。67 年前に開始された改革により、世界的な経済危機の影響が軽減されました。ナイジェリア経済は、危機にもかかわらず 6%の成長を維持しており、この数字は現在のアフリカ地域の成長率の平均を上回っています。

設定された成長の見通しは、来年も堅調を維持しますが、先進国からのスピルオーバー（波及効果）がその見通しを脅かしています。ナイジェリアの底堅さが再び試されています。

貿易と金融の関係は、良い時代には経済の成長に不可欠ですが、皮肉にも、今日では相互に関連してエスカレートする経済リスクをもたらしています。

先進国において持続している景気減速は、アフリカの輸出需要を抑制します。さらに、引き続き金融市場の不安定性が持続すれば、民間資金の流れ、送金、譲許的融資を抑制する可能性があります。

商品市場の変動が極めて大きくなるとさらに混乱が生じ、アフリカ地域内に勝者と敗者が生まれる可能性があります。石油の世界的な需要が減速すれば世界の石油価格が下落するリスクが、ナイジェリアにとっての主要な監視ポイントです。

こうしたリスクに直面しているなかで、私の主な懸念は多数の国々が3年前のようなショックを吸収する能力を持ち合わせていないという点です。それに加え、今回は世界的な景気低迷がさらに顕著になる可能性があります。

雇用と成長の促進を支援する待望のインフラへの投資のための財源を保護しながら、目先の世界的な景気後退に備えるための道を踏み外さない政策が必要です。

ただし、概して政治家は、前回の景気後退時にアフリカ大陸とナイジェリアで大いに役立った財政バッファの回復を重視する必要があります。備えることが重要なのです。

ブッカー賞を受賞したナイジェリア人の小説家で詩人であるベン・オクリは、かつて、「人生に石を投げつけられても、あなたの愛や夢はそうした石を発見の花に変える」と述べました。

適切なビジョンを持ち、適切な行動を起こせば、今日の世界的なリスクがナイジェリアの現実となることはありません。

### 3. ナイジェリアの改革検討課題

三番目の問題は、ナイジェリアで進行中の改革がどのように実施されているのかが、リスクに備え、さらに包括的で持続的な経済成長を確保するための鍵となります。最初に、ナイジェリアは正しい軌道に乗っていると私は自信を持って言えます。

今年の初めグッドラック・ジョナサン大統領は、政府の改革検討課題の目標について、「ナイジェリアは、全国民が経済的及び発展上の機会を平等に利用可能な、さらに共生的な社会を構築する必要がある」と述べました。

この発言は、アフリカ地域のその他の多数の国々の目標に影響を与えています。

ただし、この目標は決して容易ではありません。リスクの世界的な拡大に加え、改革検討課題はいくつかの重大な局地的な問題に対処しなければなりません。

インフラ格差、特に電力部門の格差が、ナイジェリアが成長の可能性を十分に発揮することを阻害しています。たとえば、ナイジェリアの発電容量は南アフリカのわずか10%ですが、人口は同国の3倍超です。

また、高失業率も重大な経済的、社会的問題です。これはナイジェリアの若年層に特にその傾向が強く、その失業率は35%以上となっています。

したがって、経済成長のみでは十分ではありません。経済成長を経済的かつ社会的に持続可能にするには、雇用創出が不可欠です。

こうした取り組みに不可欠だと私が思っている政府の検討課題には、**3つの側面**があります。

*第一に、ナイジェリアの莫大な天然資源がもたらす富を上手に管理すること。*

政府系投資ファンドを確立し、安定と投資のために石油収入の使用を重視することが重要な進歩につながります。外部環境、すなわち、財政バッファの再構築の必要性を考えれば、こうした改革を推し進めることが特に重要です。

また、天然資源がもたらす収入は、成長と雇用に必要なインフラ投資に対してさらに効果的に働きます。

ただし、天然資源がもたらす収入を慎重に管理すれば、その他の重要な公的支出の余地を生み出します。ミレニアム開発目標の達成には依然として隔たりがあることを考えると、さらに強力な社会的なセーフティネットを構築可能にする資金の増大が、母子保健などの分野をはじめとして特に重要です。

*第二に、構造改革です。*

経済の多角化をさらに推し進めることで、ナイジェリアがさらにうまくショックを切り抜けるのに役立ちます。これによりさらに広範囲な成長をもたらし、国民全体に対して機会と雇用が与えられます。

ここには、まだ開発されていない、極めて大きな可能性が存在します。ナイジェリアは投資家にとって巨大な市場です。通信が発達し、2000年には6万人だった携帯電話の契約者が、今日1億2,500万人に爆発的に増加した市場です。

ただし、ナイジェリアのビジネス環境を向上させるには、依然として多くのことを実施しなければなりません。インフラのボトルネックに対処し、教育水準を引き上げ、そして農業部門の開発を支援するには投資が必要です。

これは、マクロ経済的安定と投資家の信認の促進が可能となる、さらに信頼性の高い政策が必要であることを意味します。

*第三に、金融セクターの改革です。*

ナイジェリアの銀行制度は2009年に深刻な危機に直面し、三分の一以上の銀行が破綻するか、深刻な資本不足に陥りました。しかし、現在は改革により目覚ましい業績を挙げており、銀行危機を解決する対策もほぼ完了しています。

今後、規制と監督の実施における改革において、引き続き金融の安定を図り、融資を利用する機会を改善することに重点を置くべきです。

これは、多岐にわたる困難な検討課題です。そして、おそらく最も印象的なのは、それがナイジェリアのための検討課題であり、ナイジェリア人により推進されることです。

#### **4. IMFの役割**

IMFは、皆様を支援し皆様のより優れたパートナーとなるためにここにいます。これが私が最後に言いたい点です。

私は、IMFの職員と共に皆様のニーズにさらに注意深く耳を傾けながら対話を深め、建設的な対話を行えるように取り組んでおり、こうした姿勢が、さらに効果的に皆様の役に立つことにつながります。

ナイジェリアは、アフリカ地域の今後の方向性を示す指導者です。そして、私はナイジェリアの主張に耳を傾けるためにここにいます。

また、新興国や開発途上国がIMFでの発言力を強めることができるように、IMFのガバナンス体系を改革するために懸命に取り組んでいます。そうすれば、我々は真の意味で加盟国の代表者となれるのです。

譲許的融資能力を必要としている国々に対して、IMFはその能力を高め、融資制度をさらに柔軟なものに改革し、社会支出に対する保護をさらに強化しました。

また、IMFは質の高い技術的な助言を行うために一層努力しています。IMFは技術的な専門知識、アフリカの国々が社会的及び経済的目標を達成するために役立つ専門知識を有しており、ナイジェリアの公共機関と共に技術的な支援を実施するプログラムを備えています。また、IMFは、アフリカにある4箇所（まもなく5箇所となる）の地域技術支援センターを通じて、国家間における専門知識の共有の促進に関して重要な役割を果たすことが可能です。

## 結論

それでは、有名なナイジェリアの小説家チヌア・アチェベの言葉を引用しながら、演説を締めくくりたいと思います。小説『崩れ行く絆』で、アチェベは次のように書いています。「太陽はひざまづく者たちの上に輝く前に、立っている者たちの上に輝く」

前途には困難が待ち受けています。そして、今こそ政治家が立ち上がる時です。世界経済の暗雲に背を向け、太陽の方向に向きを変えるために。

今こそ行動の時であり、アフリカ人のリーダーシップ、ナイジェリア人のリーダーシップを発揮するときです。行動を持続することにより、ナイジェリア人は、ナイジェリア自身、アフリカ大陸、そして世界のために成長の源泉となることが可能なのです。

ご清聴ありがとうございました。